

令和7年12月25日

令和7年

第12回教育委員会定例会会議録

大田区 教育委員会室

令和7年12月25日（木曜日）午後2時から

1 出席委員（6名）

小 黒 仁 史	教育長
出 張 吉 訓 委 員	教育長職務代理者
高 橋 幸 子 委 員	
深 澤 佳 己 委 員	
北 内 英 章 委 員	
藤 井 大 吾 委 員	

2 出席職員（11名）

教育総務部長	今 井 健太郎
教育総務課長	鈴 木 孝 司
教育施設担当課長	小野澤 行 平
副参事（教育地域力担当）	齋 藤 恵 介
副参事（教育施設調整担当）	小 池 武 道
学務課長	八 木 弘 樹
指導課長 （幼児教育センター所長 兼務）	木 下 健太郎
指導企画担当課長	志 賀 克 哉
学校支援担当課長	長 岡 誠
教育センター所長	早 田 由香史
大田図書館長	杉 村 由 美

3 日程

日程第1 教育長の報告事項

(午後 3 時00分開会)

○教育長

それでは、ただいまから、令和 7 年第12回大田区教育委員会定例会を開会いたします。

12 月 11 日をもって三留委員の任期満了を迎えましたことから、12 月 12 日付で新たに出張委員が区長から任命を受けたので、ご紹介いたします。

出張委員は、東京都教育委員会において東京都教育庁指導部長、それから教育監兼東京都教職員研修センター所長などを歴任されまして、東京都の教育を牽引されてこられました。また、学校法人藤村学園理事・学長補佐を勤められ、現在は東京女子体育短期大学こどもスポーツ体育学科の教授としてご活躍されていらっしゃいます。

それでは、出張委員から一言、ご挨拶をお願いいたします。

○出張委員

皆さんこんにちは。着座にて失礼いたします。

ただいまご紹介いただきました、このたび大田区教育委員を拝命いたしました、出張吉訓と申します。「出張(しゅっちょう)」と書きまして「出張(ではり)」と読みます。どうぞよろしくをお願いいたします。

私は今回、教育委員を拝命し、その責任の重さをあらためて感じております。大田区のこどもたちが健やかに成長し、次代を担う人材へと育つよう、教育委員会の一員として皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。

私は都立高校の教員として教育活動をスタートいたしました。当初は農業高校での専門教育に携わり、その後、かつて東京都にありました全寮制の男子高校で勤務し、朝から夜まで生活指導や学習指導に従事し、その中でこどもたちの主体性を育む教育に取り組んでまいりました。

その後は、教育行政の立場で 23 年間、教育施策の推進に携わりました。生徒指導、人権教育、さらには喫緊の課題である教育改革など、多様な施策を企画・実施に携わってきました。

さらに東京女子体育短期大学に着任し、生徒指導論、教師論の授業や研究を行い、教員を志す学生の自己実現を支援してきました。資料の中に、中学生の「自習室が欲しい」といった声を受け、学校が自習室を設置した事例など、大学でも行ってきました。こどもたちが安心して学べる場を整えることで、こどもたちは確実に伸びると実感しております。

このように学校現場、教育行政、大学という三つの立場で培ってきた経験を、大田区のこどもたちのために少しでも役立てたいと考えております。

教育委員の皆さんとともに、様々な視点から議論を深めながら、よりよい教育施策にしていければと思っております。

少々長くなってしまいましたが、どうぞよろしくをお願いいたします。

○教育長

出張委員、よろしくをお願いいたします。ありがとうございました。

なお、大田区教育委員会会議規則第 5 条では、委員会の席次は会議に諮ることになっております。出張委員は教育長職務代理者として指名させていただいておりますので、教育

長席の隣に席を用意いたしました。このままでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長

では、よろしくお願ひいたします。

それでは、本日は、傍聴希望者がおります。

委員の皆様は傍聴許可を求めます。許可してよろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○教育長

傍聴を許可いたします。

(傍聴者入室)

○教育長

大田区教育委員会傍聴規則第7条により、傍聴人は、議場における言論に対して批評を加え、または、拍手その他の方法により公然と可否を表明することは禁止されております。ご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは、これより審議に入ります。本日の出席委員数は、定足数を満たしておりますので、会議は成立しております。

まず、会議録署名委員に藤井委員を指名いたします。よろしくお願ひいたします。

続いて、本日の日程第1について、事務局職員の説明を求めます。

○事務局職員

日程第1は、「教育長の報告事項」でございます。

○教育長

それでは、私からの報告事項として、本日は3点申し上げます。

1点目は、周年の式典・祝賀会についてです。

11月29日、六郷小学校は150周年、それから、相生小学校は100周年の祝賀会に行つてまいりました。

六郷小学校は明治8年の開校で、大田区では最も古い学校の一つでございます。明治8年は、大森駅ができて、モース博士が大森貝塚を発見した年で、歴史があります。六郷にも学校をとということで、六郷小学校が開校しましたが、当時、六郷は梨や桃の産地でした。

それから、六郷はその後、工業が発達して、工場の町として大田区、また、日本の工業を支えた歴史がございます。

この150年の歴史の中で、様々なお子さんが成長してきましたが、式典に参加させていただいて一番印象に残ったことは、こどもたちの大きな歌声や声でした。呼びかけ等も非

常に立派にできていて、歌も心を込めて、体を反らしながら歌っている様子で、ほほ笑ましかったなと思います。

また、祝賀会は、六郷の地域の方々が趣向を凝らして、大変盛り上がりました。PTA 会長実行委員も含めて、みんなで合唱したり、マグロの解体ショーを行っていました。保護者の方々も、祝賀会のお手伝い等をしていただいて、非常に手作り感のある楽しい出し物がございました。

その祝賀会で、私は挨拶をさせていただきましたが、私の高校時代の友人で、現代アートの活躍している大竹伸朗という人がいて、そのお話をさせていただきました。今、展覧会で、「六郷」という作品を出しているのです、紹介をさせていただきました。

次に、相生小学校の 100 周年の祝賀会に参加させていただきました。相生小学校は蒲田の西口にあつて、蒲田小学校があり、西口から京浜東北の長い踏み切りを渡っていくところで、ぜひ西口のほうにも学校をという熱い思いで開校に至ったのが、100 年前です。お話を聞いて、なぜ相生小学校という名前なのかというと、地名が、おなづかと御園という二つのある地域があり、それが、なかなか譲らない状態となりました。そうではなく、共に生きていくという意味で相生という名前はどうかと言って決まったとの話がありました。そのことを祝賀会の中でもご紹介させていただきました。

日本工学院がありますが、その最上階にすばらしいラウンジがあり、そこから見える東京の夜景も非常にきれいですが、商店、地域の方もたくさん集まり、非常に盛り上がった祝賀会でした。教員も独自にダンスを踊り、地域と共に一緒に 100 周年を祝う様子が分かりました。北内委員も参加されていて、ダンスをして大変盛り上がり、PTA の方々が熱い思いを表現してくれました。

いずれにしても、100 年、150 年というのは長い歴史です。学校は、地域の方々と共にあり、大田区の地域力を活かした学校づくりは、地域に根差したものです。ますます地域が育てていく、そうしたコミュニティスクールも含めて、推進していければと思ったところです。

それから、12 月 3 日には、指導課訪問がございました。今年度から 88 校すべての学校に、三つのグループに別れて指導訪問をすることに取り組んでいます。12 月 3 日は、調布大塚小学校の学校訪問に行つてまいりました。私は、おおたの未来づくりの授業を見させていただきました。6 年生が、国際教育に近い、題材が、「カンボジアをどのように支援するか」という課題の取組みでした。アメリカも含めて近隣の国や、日本も含めてどのような支援ができるかということ、発表しているところでした。

後ろのほうに民間の方で、海外で活動されている方々が 4 人程いて、発表を聞いてコメントをしたり、質問をしたりして、こどもたちなりにカンボジアを支援する会議を、それぞれの国の立場から意見を言っていました。

ひとつの発表に、かつてカンボジアの宗主国がフランスであったため、フランスが約数兆円の資金を出して支援すれば良いのでは、という発表がありました。民間の聞いている方がそれを聞いて、数兆円というのはフランスにとっては大きなもので、賛同が得られるのかという質問をしていました。発表したその 6 年生の男の子が、その数兆円は、フランスの GDP から言うと 3% から数% で、支援は可能ですと即座に言いました。6 年生が GDP について理解をして、自信を持って発言することはすごいことで、今までの授業の中

では、あまり見たことがないことでした。

それで、どうしてそのようなことをすぐに言えたり、自信を持ってできるのかと考えてみると、その支援会議というのは、こどもたち同士で行っていて、情報を集めてきて、いろんな質問をして議論をして、自分の発言にある程度自信を持って、根拠を持っているのだと思いました。

民間の方からの質問についても、簡単に答えることができるということは、意識を持ってこどもたちが国際社会をこれから生きていく上で、一つの大事なことだと思いました。

この未来づくりが、こどもたちが主体的に考える、良い教育活動ができていると思ったところです。

3点目は、12月13日に行われました第13回小学生駅伝大会に行つてまいりました。午前・午後と分かれて実施されましたが、私は、午前に参加しました。

南蒲小学校が4連覇していて、5連覇できるかがかかっていました。学校は、自信を持って見ていましたが、結果的には、5連覇はできませんでした。池上第二小学校が頑張つて、優勝しましたが、一生懸命に取り組んで、連覇はできなかったとしても、頑張つて取り組んだことは、こどもたちにとって良い経験になったと思います。

今年も、大田スタジアムのスタンドいっぱいの応援を受けて、こどもたちが一生懸命走る姿は、非常に感動的でした。たすきをつなぐというスポーツの文化があると思いますが、大田区のこどもたちがスポーツ文化に触れて、ぜひ駅伝が文化として根付いていけば良いと思います。

体育部の先生方、校長先生方、消防署の方々、PTAも含めて、ご協力いただいておりますが、大事な大会だと思いました。

少し長くなりましたが、3点について、ご報告をさせていただきました。

それでは、何かご意見・ご質問がありましたら、お願いします。

○高橋委員

私からは、2点報告します。

11月29日、教育長がおっしゃった六郷小学校の開校150周年記念式典祝賀会に参加しました。式典の開式前にはねぴんがお祝いに来てくれて、児童たちはとても喜んでいて、緊張がほどけた一瞬でした。

喜びと誓いの言葉では、一人一人、お腹から声を出してはっきりと150年の歴史を発表し、歌声もすてきなハーモニーでした。太鼓クラブの演奏も力強く式典を盛り上げました。児童たちが周年記念委員会を発足し、150周年記念みこしパレードを計画して、各クラスごとに制作したみこしを担いで自分たちの町を練り歩き、地域の方々とお祝いをした様子の発表がありました。

また、式典後、祝賀会の前に5年生演奏会場にて、連合運動会で発表した曲を聞かせていただきました。スイングするように楽しく演奏し、とても魅了されました。

また、郷土資料室では、6年生が担当するコーナーごと案内してくれて、理解が深められました。

祝賀会は、六郷ウィンドアンサンブルの演奏、マグロの解体ショーなど、参加者一同盛り上がった会でした。スタッフも保護者が担当してくださり、おもてなしが行き届いてす

ばらしいと感じました。協力いただいた地域の方々の紹介もあり、みんなで作り上げた祝賀会だと思いました。

次に、12月5日、雪谷小学校の指導訪問に同行しました。先生方が作成した学習指導案により、3、4、5校時の授業参観をさせていただきました。主体的・対話的、深い学びとICTの活用を視点にした学習を参観しました。人懐っこく素直なこどもたちでした。新任・ベテランの先生が協働している印象を持ちました。全体会での講演、分科会での統括指導主事・専門員のきめ細かい指導・助言も、これからの児童たちの指導に生かせる有意義なものになると思います。

今年は最後になりましたが、1月、2月と続きます。指導課の皆様、ありがとうございました。

そして、今後ともよろしく願いいたします。

○教育長

ありがとうございました。

ほかにご意見等がありますでしょうか。

○深澤委員

私は、先ほど、教育長からお話があった小学校駅伝の、午後の部に参加いたしました。大きなスタジアムが埋まるくらいの保護者や関係者の方が集まって、こどもたちを応援していました。

ロードレースの後、駅伝があつて、各学校から12名の児童がたすきをつなぎました。駅伝に出場するために、どの学校も練習を積み重ねてきており、ゴールをめざす眼差しが、どの児童も真剣そのものでした。

駅伝のコースはスタジアムから一度外に出て、また、スタジアムに戻ってくるというのですが、選手たちが外に出ている間、東調布中学校のチアガールの皆さんが、すばらしい踊りを披露してくださいました。

また、中学校の陸上部に所属する学生が選手に伴走してくれて、中学生が駅伝に協力してくれている姿は、とても頼もしく見えました。

閉会式で、山王小学校の校長先生が、駅伝出場のための練習を通じて、頑張る力を養い、目的をともにする仲間との友情を温めたことが大きな実りであるとおっしゃっていましたが、大会中、友達と喜びを分かち合ったり、なぐさめている姿を見て、駅伝に出場した経験が子供たちを良い意味で一回りも二回りも大きく成長させるであろうことを感じました。

大田区の駅伝は、こどもの成長のみならず、保護者や地域の方々の心を一つにする貴重な場ですので、これからも今のような形で、ぜひ継続していただきたいと思います。

○教育長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見等がありますでしょうか。

○北内委員

私からは、2点報告いたします。

1点目は、小学生駅伝大会です。12月13日(土)、第14回小学生駅伝大会が大田スタジアムで開催されました。大田区立小学校60校が午前と午後の2部に分かれ、日頃の練習の成果を思う存分発揮しました。当日は、少し肌寒くはありましたが、駅伝には程よいくらいの天候でした。

本大会は「おおた教育ビジョン」基本方針1個別目標3「一人ひとりが個性と能力を発揮するための基礎となる力を育成します」に示された施策「健やかな体の育成～生涯にわたって健やかで健康の増進を図るこどもを育てます～」に位置付けられています。

大会は、午前も午後各学校代表の5、6年生児童による学年・男女別ロードレースと学年・男女混合12人による駅伝からなります。駅伝は、1本のたすきを次の選手につないでいき、チームとしてのゴールを目指します。代表選手一人ひとりが精一杯走りぬき、チームメイトがお互いに応援・声掛けし、チームの絆を深めることができたと思います。

スタンドは、保護者と家族、友達、先生で満席となりました。場内のアナウンスで、学校名が読み上げられる度に大歓声が起こりました。スタジアムとスタンドが、一体感で包まれました。また、周回遅れの選手に対しても、学校の枠を超えてスタンドから温かい拍手が送られました。

東調布中学校のチアリーディング部のパフォーマンス、出雲中学校と南六郷中学校の陸上部による伴走が、大会に花を添えてくれました。本大会に御協力いただいております全ての関係者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

2点目は、周年行事です。

11月29日(土)午前、六郷小学校開校150周年記念式典、同じく午後、相生小学校開校100周年記念式典・祝賀会に出席しました。

厳かな空気の中での式典では、児童は、合唱を通して、過去から現在そして未来に向けた言葉を発表しました。各校、とても素晴らしい発表でした。華やかな祝賀会では、地域の方々、歴代PTA関係者、歴代校長先生・教職員が昔話に花を咲かせました。

相生小学校の式典では、卒業生代表として渡辺満里奈さんが出席され、感謝の気持ちと在校生へエールを送られました。そのお話の中で、学校が当時と変わっていないということをお話されたときは、区長と私は、少し苦笑いしました。

周年行事は、とても大切な行事です。厳かな空気の中での式典は、こどもたちを成長させます。また、式典を通して、児童・生徒一人ひとりが、多くの人に支えられ地域の一員であることを自覚し、地域への愛着が深まり責任感を育みます。祝賀会は、縦と横の人と人との繋がりをより強固なものとし、延いては地域力を更に醸成することになります。

周年行事の開催にあたり、校長先生をはじめ教職員の皆さま、PTA・実行委員会の皆さま、関係者の皆さまのご尽力に感謝を申し上げます。

○教育長

ありがとうございました。

ほかに、ご意見等がありますでしょうか。

○藤井委員

11月20日に、私が担当している梅田小学校の就学児健診に行っていました。

学校医として就学児検診を長い間やっていますが、こどもたちは、馬込地区においてはだんだん増えてきていて、もう少し増えると校舎の容量が足りなく、プレハブ校舎等を建てる必要に迫られる勢いでしたが、人数は去年より少し減って、何とか収まった状況でした。

学校の前の道路には、学校が終わった後、いろいろな教室を運営している事業者の方がパンフレットを配っておりました。昔は就学時検診に連れてくるのは母親の方が多かったのですが、今は、父親の方、あるいは祖父母の方が連れてこられることも多くなってまいりました。お母様は、多分お仕事に行かれていて、仕事との両立が大変だろうと思いつながら、健診をしていました。父親の方もお仕事は休んだのかもしれませんが、半日かけて来ていただけるというのは社会の理解が徐々に進んできたおかげだと実感しました。

それから、今年は、インフルエンザは大分減ってはいますが、最初にA型がはやって、それが減ってきた頃に、B型の山が来るというのが普通のパターンでして、大体新年は少し感染症は収まる傾向にあるので、1月以降一段落して、しばらくして2月頃から今度は、B型の山が来るのではないかと危惧しております。

コロナは、最近、さらに弱毒化しまして、まだ、少ないながらも一定の患者さんがいるわけですが、今は、インフルエンザのほうが重症感が強いです。

それで、インフルエンザのワクチンもコロナ禍以降、打つ人が若干減っております。インフルエンザワクチンは生ワクチンも出ましたけれども、全体としては、接種率が低下しています。実は、病院では、こどものインフルエンザ脳症で入院しているケースがあります。

ですから、インフルエンザは、決して侮れないということで、ワクチン接種をしっかりとすれば、感染が防げなくても、重症化を防ぐ効果は確実にありますので、こどもが脳炎を起こしてしまうことがないように、ワクチンは、引き続ききちんと打っていただければと思います。

○教育長

ほかに、ご意見等ありますでしょうか。

よろしいですか。

(「はい」との声あり)

○教育長

それでは、本日の日程については以上となります。

これをもちまして、令和7年第12回の教育委員会定例会を閉会といたします。

どうもありがとうございました。

令和7年 第12回 教育委員会 定例会 12月25日(木) 午後3:00～

教育委員会室

<教育長の報告事項>

<部課長の報告事項>

教育総務部長

参事（教育施設担当）

教育総務課長

教育施設担当課長

副参事（教育地域力担当）

副参事（教育施設調整担当）

学務課長

指導課長

指導企画担当課長

学校支援担当課長

教育センター所長

幼児教育センター所長

大田図書館長

令和7年12月25日

令和7年第12回教育委員会定例会日程

日程第1 教育長の報告事項